

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 「情報メディアの利用、土曜日の過ごし方等」についてのアンケート結果について
- 平成26年度児童生徒芸術等鑑賞会のお知らせ
- 町内の先生が一同に集い「あつま教師力アップ研修会」を開催
- 第22回カルチャーバスを開催
- 図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

「情報メディアの利用、土曜日の過ごし方等」についてのアンケート結果について

近年、児童生徒の携帯電話やスマートフォン(以下「スマホ」)などの利用をめぐって、生活習慣の乱れをはじめインターネットによるいじめやトラブルの発生が指摘されていることから、望ましい生活習慣の確立やいじめの未然防止に向けた施策の推進を行うため、教育委員会では本町の児童生徒の携帯電話やスマートフォン(以下「スマホ」)などの利用の実態を把握するアンケート調査を実施しました。

アンケートは、町内の小学校4年生から中学校3年生までのお子さんをお持ちの保護者の皆様を対象に6月に実施し、対象者の約8割に当たる、157人の保護者の皆様からアンケートのご協力をいただきました。また、時期を合わせて児童生徒(小学校4年生以上)にも、保護者アンケートと同様のアンケートを実施しています。

アンケートの結果、本町の児童生徒の携帯・スマホ等の所有で以下のような実態が浮かび上がりました。

1. 携帯・スマホ等の所有率……小学生は23%(全国36.6%)、中学生は41%(全国51.9%)。
種類……小学生は機能制限携帯電話、中学生はスマホの所有が多い。
2. フィルタリング(閲覧制限)……フィルタリングをかけていないのは 約40%
3. 所有の理由、目的……保護者と子どもで違う面も
保護者の理由は、「子どもとの連絡」、「子どもの居場所が分かり、安心できる」
子どもの目的は、家族との連絡以外にも、「友達との連絡、メール」「音楽や動画、ゲームを楽しむ」「インターネットで調べ物をする」「SNSやチャットを楽しむ」など多様
4. 情報リテラシー(情報活用能力)……児童生徒の情報活用能力では、不十分な面も。
5. 家庭でのルールづくり
3分の2の家庭……ルールは作ってはいるが、あまり守られていない。
3分の1の家庭……ルールは作っていない。
6. 携帯・スマホ等の平日の使用時間……1時間以上使う子どもが約30%
7. 保護者からの注意内容……「使い過ぎるので」が最も多い。「寝ながら使っているので」「人との会話中も使っているので」「食事中も使っているので」など課題のある例も
8. パソコン、ゲーム機の平日の利用時間……「2～3時間未満」 7～8%
「3時間以上使」 約4%
9. テレビ、ビデオ等の平日の利用時間……「2～3時間未満」 約17%
「3時間以上」 約6%



アンケートによると、保護者も児童生徒も「携帯、スマホに依存的になる」「いじめやトラブルに巻き込まれる」「勉強に集中できなくなる」「生活リズムが乱れる」などの心配を抱えています。

学校やPTAと連携を図りながら、全町的な実効性のある取組が求められます。

◆問合せ 教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495

町内の先生が一同に集い 授業技術を学ぶ

子ども達の夏休み期間を利用した教員の学び「あつま教師力アップ研修会」が8月1日、厚真町総合福祉センターで行われました。

この研修会は、子どもたちの確かな学力などを育成するために、教師の学習指導や学級経営等についての資質・能力の向上を図ろうと教育委員会が平成22年度から毎年行っているもので、今年度2回目です。研修会では、国立教育政策研究所初等中等教育研究部山森光陽総括研究官による、「よりよい学習者をどのように育むか」をテーマにした講演が行われ、その後ワークショップ形式で参加した教員約50人が授業技術を学んでいました。



海の日 に 第22回カルチャーバスを開催



7月21日に厚真町文化協会主催による第22回カルチャーバスが開催され、72人が参加しました。例年、祝日の海の日に開催されているカルチャーバスですが、今年では中札内・帯広方面へ向かいました。

中札内では六花の森・中札内美術村を見学して回り、色とりどりに咲く花や、絵画などの芸術に親しみました。また、帯広では緑ヶ丘公園内にある道立美術館や百年記念館、帯広美術館などの施設を自由行動しました。参加者からは「六花の森では、包装紙に描かれている花を実際に見ることができてよかった」などの感想があり、思い思いに遠出を楽しんでいました。

小学校英語発表会・中学生英語暗唱大会予選会

平成26年度厚真町小学生英語発表会・胆振中学生英語暗唱大会予選会(町英語教育推進委員会主催)が8月5日、厚真町総合ケアセンターゆくりで行われました。小学生の部では、英語での自己紹介や歌(Let it go ～アナと雪の女王テーマ～)などの発表がありました。

中学生の部では、英語による暗唱の成果が披露され、審査の結果、第1位に大塚葉那さん(厚真中2年)、第2位に佐々木鈴花さん(厚南中3年)、第3位に佐藤睦美さん(厚南中3年)が選ばれました。この上位3人は、今年10月に登別市で開催される胆振大会に出場することになっています。



本町の英語教育について、旭川で発表

8月2日に旭川市大雪クリスタルホールで開催された「北海道英語教育セミナー in Asahikawa」にて、厚真中の道源由加里先生が「小中の連携を重視した英語教育」と題して、本町の英語教育推進の共同研究者である北海道科学大学秋山敏晴教授とともに実践発表しました。

秋山教授からは英語教育における小中連携の視点と意義、そして厚真町での実践の中で充実した連携取組が行われていることが紹介されました。

道源先生からは本町の小学校からの英語教育の積み上げ、特に小学校のプロジェクト発表と中学校の厚真PR活動へのつながり、そしてアメリカの日本語学校との交流へ発展している厚真町の夢ある英語教育の実践が報告されました。



NHKジュニアバドミントン教室を開催します！



「NHKジュニアスポーツ教室」が厚真町で開催されます。今回はバドミントンをテーマに、元オリンピック日本代表選手の陣内貴美子さんを迎え、地元のバドミントン活動を行っている小・中学生に直接指導を行います。観覧は無料ですので、ぜひ応援にご来場ください。

とき 9月14日(日) 午後1時～

ところ スポーツセンター

主催 厚真町、厚真町教育委員会、NHK室蘭放送局

問合せ 教育委員会社会教育グループ 0145-27-2495



青少年健全育成委員会からのお知らせ

携帯電話・スマートフォンのフィルタリングしてますか？

携帯電話・スマートフォンなどは便利な道具である反面、使い方によっては危険もあります。

フィルタリングとはインターネット上の各サイトを一定の基準で判別し、違法・有害なサイトを閲覧できないようにするものです。

昨今、青少年が携帯電話から違法・有害サイトにアクセスしてしまい何らかの事件事故に巻き込まれるケースや、Mixiなどに代表されるSNSの利用により、不特定多数との交流からトラブルに発展するケースが増加しています。

お子さんの安全上、携帯電話・スマートフォンを持たせているご家庭も多いかと思われます。気軽に使える携帯から簡単にインターネットにアクセスできる環境はお子さんにとって良い影響も悪い影響も与える可能性があります。保護者の皆様にはお子さんの健全な成長、事件事故防止の観点からフィルタリングの活用をお願いします。

※携帯電話各社では無料でフィルタリング（有害サイトアクセス制限）サービスを提供していますので、ぜひご利用ください。



文化祭展示作品募集

11月3日(月)(文化の日)4日(火)に「厚真町文化祭」が総合福祉センターをはじめ各施設で開催されます。

文化祭実行委員会では、町民の皆さんから様々な展示作品を広く募集しています。



なお、展示スペースに限りがありますので展示を希望される方は、9月17日【水】までにお申し込みください。

◆問合せ

教育委員会内 文化協会事務局
☎27-2495 担当 齊藤

7月定例教育委員会

7月29日に開催された定例教育委員会の会議の内容についてお知らせします。

◆報告事項

あつま教師力アップ研修会、北海道市町村教育委員研修会についてなど(9件)

◆議案

厚真町立学校管理規則願出等手続規程の一部改正について (1件)

◆その他

情報メディアの利用、土曜日の過ごし方等についてのアンケート実施結果、厚真町いじめ防止基本方針(たたき台)についてなど(4件)

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

平成26年度児童生徒芸術鑑賞会

劇団め組「あおいとり」「ベニスの商人」

今年度は「劇団め組」を迎え演劇鑑賞を行います。一般町民の皆さんにも開放しますので、ぜひご来場ください。

と き 9月3日【水】

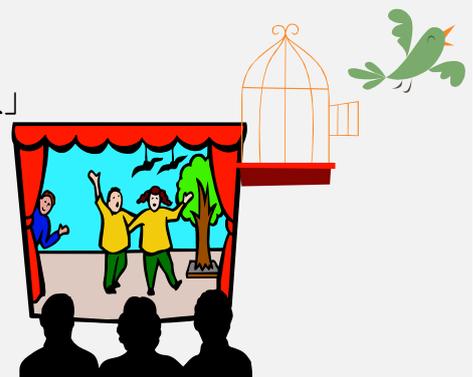
[午前の部]午前10時00分開演 演目「あおいとり」
[午後の部]午後 1時30分開演 演目「ベニスの商人」

ところ 厚真中央小学校体育館

主催 厚真町教育委員会

後援 一般財団法人 北海道公立学校教職員互助会

問合せ 教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495



図書室だより

青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)
TEL 27-3977 (土日)

親しまれる 図書室づくりを 学校図書館環境整備事業スタート!

子どもたちの読書活動を推進していく上で、子どもたちにとって一番身近な学校の図書室をより親しみやすく、より活用できる図書室にしていこうと、教育委員会では学校図書館環境整備事業に取り組んでいます。

その一環として、8月8日、上厚真小学校を会場に北海道立図書館（江別市）の伊藤嘉奈子主査を講師に招き、学校図書館の環境整備をテーマにした講座が開催されました。町図書室職員や、小中学校の図書活動担当者、読み聞かせボランティアや保護者ら約20人が参加し、学校図書館の役割などの講座を受けた後、実際に図書資料の配架の仕方など環境整備について学びました。

学校図書館環境整備事業は今後も継続的に行われ、町内の各小中学校に図書室の環境整備を行うボランティアを派遣し、本の修理や配架整理など学校図書館の整備を行っていきます。

なお教育委員会では、学校図書館の環境整備を行う図書ボランティアの方を募集していますので、お問い合わせください。



学校図書館の環境整備の仕方を学ぶ参加者

図書ボランティア募集中!
教育委員会
学校教育グループ
☎ 27-2494

今月のおすすめ

8月28日厚真町にやってくる尾木直樹さんの著書と新着DVDをご紹介します。

尾木ママの教育をもっと知る本

尾木 直樹 / 著



日本の教育を世界レベルにしたい。子どもたちの「幸せ感」をもっともっと高くしてあげたい。尾木ママが子育て、人生、教育論を語る、尾木ママの教育に関するビジョンが詰まった1冊です。

トムとジェリーテイルズ1～6

ワーナーホームビデオ



トムとジェリーが帰ってきた！永遠のライバルにして「仲良くけんか」する、笑いあり涙ありの壮大な追いかっこがまた楽しめます。

「ケータイ・ネット時代」の子育て論

尾木 直樹 / 著



前半では、ケータイによるいじめなど親からの最近の教育相談を取り上げQ&A形式で解説。後半では、ケータイやネットが子どもの人間関係をどのように変質させているのか、家庭関係にいかにか新たな困難を生じさせているかを説きます。

宮西達也劇場 おまえうまそうだな Vol. 1

トムス エンタテインメント



宮西達也の絵本「ティラノサウルスシリーズ」を映像化。絵本のタッチを最大限に生かした短編アニメーション。

青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム上映会～

「さそり座と物語の登場人物たち」

夏の南の夜空に浮かぶ、くっきりとしたS字と赤い星。そう、お誕生日星座の1つ、さそり座です。今月はこのさそり座とその物語に登場する星座を紹介していきます。

晴天の場合は引き続き天文台で実際に星を観察しますのでぜひご参加ください。

とき 8月21日(木) 午後6時30分

ところ 青少年センター2階ホール集合

問合せ 教育委員会社会教育グループ TEL 0145-27-2495

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書
があります。みなさんどうぞご利用下さい。

一般書

『総理の夫』

原田 マハ/著



日本初の女性総理・相馬凜子が誕生し、鳥類研究家の夫・日和は妻を支えようと決意する。果たして凜子の理想は実現するのか。

- ・高校入試 湊かなえ/著
- ・わたしをみつけて 中脇初枝/著
- ・再会 諸田玲子/著
- ・増山超能力師事務所 誉田哲也/著
- ・月神 葉室麟/著
- ・愛ふたたび 渡辺淳一/著
- ・爪と目 藤野可織/著

児童書

『かいけつゾロリ なぞとスパイと
100本のバラ』
原 ゆたか/著



バレンタインデーにローズからチョコレートもらったゾロリはローズにプロポーズをしようと 100本のバラを手に入れたのだが…?

- ・怪談オウマガドキ学園1真夜中の入学式 常光徹/編
- ・怪談オウマガドキ学園2 放課後の謎メール 常光徹/編
- ・ぼくらの天使ゲーム 宗田理/作
- ・ぼくらの大冒険 宗田理/作
- ・怪盗ビショップの娘 アーリー・カーター/作
- ・ちび☆デビ! まおちゃんとミラクルクイズ! あど&べん&ちゃー 篠塚ひろむ/原作

実用書

『あんしん!おいしい!かめさきこども・
アレルギークリニックのおうちごはん
: アトピー、アレルギーにも』

亀崎佐織・今田祐子/著



洋・和・エスニックごはんからおやつまで。鶏卵・牛乳・小麦を使わず、手に入れやすい食材でできます。

- ・心屋仁之助の「奇跡の言葉」 心屋仁之助/著
- ・我が家の「ほんだし」活用術 味の素株式会社/著
- ・あな吉さんの「ゆる家事」レッスン 浅倉ユキ/著
- ・メディカル・リンパマッサージ 渡辺佳子/著
- ・本格家飲みカクテル教本 岡崎 ユウ/著
- ・子どもと読みたい100冊の本 日経ホームマガジン/著
- ・TPP 黒い条約 中野剛志/著

絵本

『おトイレさん』

きたがわ めぐみ/作



おトイレデビューする子いないかな? おトイレさんは、トイレをしたい子どもたちをこよなく愛する、ちょっと怪しげだけれども、優しくユーモラスなおトイレです。

- ・ウリオ 長谷川義史/作
- ・なんでやねん 室井滋/作
- ・つみきでとんとん 竹下文子/作
- ・おふろにいれて せなけいこ/作
- ・からすのおかしやさん かこさとし/作
- ・からすのやおやさん かこさとし/作
- ・汽車のえほんコレクション ウィルバード・オードリー/作

～図書室からのお知らせ～

■9月の休館日

9月16日、23日は祝日のためお休みです。

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■読み聞かせ

おはなしのびっこ

9月26日【木】午前10時30分から午前11時

エプロンシアター

「カレーでおんど」

パネルシアター

「ヤダッちゃん」

絵本の読み聞かせ



■9月の移動図書

6日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

11日【水】

ともいき荘 午前10時30分～11時00分

13日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

20日【金】

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

27日【金】

さくら保育園 午前 9時50分～10時00分

上厚真小学校 午前10時10分～10時25分

宮の森保育園 午前10時35分～10時45分

☆放課後子ども教室☆

お盆を過ぎれば秋の風といいますが、夏らしい暑さが続いています。この夏、放課後子ども教室は、“厚真ならではの活動”にこだわった2つの夏休み特別教室を行いました。活動に際し、ご協力いただいたすべての皆様に改めてお礼を申し上げます。

1つ目は7月26日(土)に【浜あつま海あそびデイキャンプ】を実施(小学1~6年生まで40名が参加)。午前中は海遊びに使う道具を手作りし、午後からは海でマイボードを使っての波乗り遊びやサーフィン体験などを行いました。海遊びには地元のサーファーのみなさんがお手伝いに来てくださり、波乗りの仕方を教えてくれたり、ボードに乗るサポートをしてくださいました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは自分で手作りしたボードを手に何度も高い波にチャレンジ!寒さにも負けず海遊びを満喫しました。



2つ目のプログラムは、7月30日(水)・31日(木)の2日間にわたり【あつまっ子カフェ@ともいきの里夏祭り】という活動を行いました(小学3~6年生まで22名が参加)。このあつまっ子カフェは、昨年度から実施しているとまこまい広域農協青年部のみなさんとの食育プログラム(あつまっ子ふるさと体験教室)で昨秋、収穫したお米を使い、子どもたちが主体となってお店を運営し、放課後教室の活動や厚真の農産物のPRをしよう!という発想から始まりました。地域の主幹産業である農業・農産物と子どもたちの暮らしを結ぶものとして、選んだ方法が流通・販売をする商い=お店屋さんです。そこで、今回は厚真町商工会青年部さんに協力を依頼。1日目には、まちのお店屋さんへの見学や、商工会青年部の方を講師に迎えてのお店の開き方講座、お店屋さんロールプレイングなどを通じて、お店を運営する基本的な要素を学びました。2日目は、1日目に学んだことを生かして、実際に子どもたちが準備から運営までをこなすあつまっ子カフェのオープンを目指します。会場は社会福祉協議会が開催する『ともいきの里夏祭り』。オープンに向けて、役割分担をし、会場でのテント設営や看板づくり、商品につける値札などのPOPや放課後教室の活動をお知らせするPRボードづくり。商品の仕入れ交渉をして品物を受け取りに行ったり、商品の陳列の仕方を考えたりと準備もすべて子どもたちが主体となって行いました。お店では収穫したお米を製粉し、加工したお菓子や農協青年部さんに依頼して仕入れた野菜などを販売。最初は声の小さかった子どもたちも、次第に大きな声でお客様に声をかけられるようになり、宣伝のためのチラシ配りや、出張販売にも積極的に取り組んでいました。ご来店いただいた保護者の皆さんをはじめ、地域の方々のおかげで商品は時間内に見事、完売!完売した瞬間にあがった「やったー!!」という歓声。達成感あふれる子どもたちの笑顔が忘れられません。売り上げから諸経費を引いて出た利益は、子どもたちにお給料として手渡されました。過度に儲けることが目的ではありませんが、お金を稼ぐことの大変さや、一生懸命工夫することの楽しさ、お金を大切にすることを学ぶこともひとつのキャリア教育になるのでは、と考えています。



お店屋さんを開くために必要なことを見て・聞いて・練習!



地域のたくさんの人のチカラを借りて、
あつまっ子カフェ、いよいよオープン☆

商品の仕入れから会場設営、会計まで子どもたちがすべて担当

地域の方々と関わる中でそれぞれの組織・団体が抱える課題があることを知りました。その課題は、お互いの得意分野を生かして協働していくことができれば、何か新しい解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。私たちの得意分野である子どもたちの“あそび”に、“はたらく”をプラスしていけば、子どもたちが地域社会に貢献する仕組みをつくることができると考えています。『子どもも大人も本気で遊べばまちが元気になる』仕組みづくりを、私たちは目指していこうと思います。